



2学期終了！

楽しい冬休みに



今日で86日間の2学期が終わりました。保護者の皆様には、本校教育活動へのご理解とご支援をいただきましたことに感謝申し上げます。あわせて子ども達の体調管理にご配慮いただきありがとうございました。

さて、今学期を振り返ってみますと新型コロナウイルスやインフルエンザといった感染症対策を継続し、学習発表会やマラソン大会を実施することができました。地域や外部機関とのかかわりをもった学習活動も進めることができました。生活科見学、まち歩き、工場の見学、地域ゲストをお招きしての学習、公共機関の学習や見学と実感をもてるような学習活動とすることができました。各教科等の理解を深めるだけでなく、地域理解を深める、地域を見つめ直す一つの機会とすることができました。また、縦割りそうじや縦割り遊び、児童会の活動を通して、自分たちの生活を振り返りながらお互いの関係について見直すことができました。

いよいよ明日から冬休みです。学校を離れ自分自身の計画に従い時間を管理することになります。学年に応じて、一人一人が見通しをもった生活することで、自己管理する力をつけてほしいと思っています。多少うまくいかなかったり、失敗したりすることもあると思います。保護者の皆様には、うまくいったことは褒めていただき、時折失敗したことにはもう一度チャレンジできるよう子どもたちを支え、背中を押していただければと思います。

今こそ 生活習慣を…



冬休みなど長期休みになると生活リズムが乱れてしまったという子どもも少なくありません。そもそも子どもの生活リズムが崩れてしまうと、心や身体へどのような影響があるのでしょうか。夜遅くまで起きていたり、朝遅くまで寝ていたりしてしまうことがあります。このように生活リズムが乱れると、「体内時計」が狂ってしまう原因となります。体内時計が狂ってしまうと、以下のように身体や心に影響が出る場合があります。

・頭がぼーっとする ・食欲がなくなる ・夜眠れず、朝起きられない ・肥満につながる
上記のいずれも子どもの心や身体にとってよくありません。だからこそ、「早寝早起き朝ごはん」をはじめとする生活習慣の大切さが言われています。「早寝早起き朝ごはん」全国協議会は、子どもの頃の「早寝早起き朝ごはん」をはじめとする生活習慣や様々な体験と、大人になった現在との関係について調査しました。その中間報告書には、次のようなことが書かれてあります。子どもの頃に早寝早起き朝ごはんをよくしていた人ほど、大人になった現在、自分のことが好きな人や、電車やバスに乗ったとき、お年寄りや身体の不自由な人には席をゆずろうと思う人が多い。大人になった現在も規則正しい生活をしている人の割合が高く、さらに、仕事にやりがいを感じていると答えた人が多いそうです。私たち大人が子ども達の将来のために、基本的な生活習慣をしっかりと身に付けさせたいものです。

思いやり算 『人を笑顔にする算数』

先日全校集会で私たちががんばっている、「誰かのために手を使うこと」を進化させるためにすることを話しました。それが、『思いやり算』～人を笑顔にする算数～です。

算数の計算には四則（たす・ひく・かける・わる）があります。この話の四則の意味は、右記に載せましたが、詳細は、次の通りです。たし算は、助け合うことで一人よりも大きな力になります。ひき算は、進んで引き受けることで喜んでくれる人がいます。かけ算は、優しい言葉をかけることで温かい気持ちになり、みんなの心が一つになります。わり算は、相手をいたわることや、楽しみや辛いことも分け合うことでだれもが笑顔になります。岩手が生んだ詩人であり、童話作家の宮沢賢治は、「農民芸術概論綱要」の中で「世界全体が幸福にならないかぎり、個人の幸福はありえない。」と書いています。自分が良ければ他人のことはどうでもいいと思っ

+ たす

たすけ合うと

おお ちから
大きな力になる



- ひく

ひきうけると

よろこ
喜びがうまれる



÷ わる

いたわると

えがお かえ
笑顔が返ってくる



× かける

こえをかけると

一つになれる



本に親しむことで...

明日からの冬休みに向けて、子どもたちは学校の図書室から一人3冊の本を借りました。読書には、以下のメリットがあるといわれています。

- ① 新しい知識や情報が得られる
- ② 創造力が鍛えられる
- ③ 語学が学べる（語彙が増える）
- ④ 心に余裕ができる
- ⑤ 集中力が身につく
- ⑥ 人とのコミュニケーションが円滑になる
- ⑦ 柔軟な思考がもてる



このメリットをより効果的にするには、目的をもって読んだり、読んだことをまとめたりすることが重要です。そこで、保護者の皆様が、子どもたちに読んだ本について質問をしてみてもどうでしょうか。そのことで読んだことを振り返り、頭の中でまとめることにつながると思います。さらに、親子の会話も増えるというメリットもありますね。どれか1冊でも、本を通じてお子様とのコミュニケーションをはかっていたいただければ幸いです

ある日の出来事から

- ☆ ある雪の降った朝のことです。先生方が昇降口の雪かきをしていると、登校してきた子ども達が雪かきをし始めました。ある男の子の話では、「先生がしていたから、自分より下の学年の子がしていたから」という理由で雪かきを始めたそうです。素晴らしい考えと行動力だと思います。その後、同じ学級の子ども達が後から何人か出てきて、雪かきをしてくれました。その子がいる学級では、この朝のことについてちょっとした話し合いをもったようです。生活のあらゆる場面に学びがあることを改めて感じました。早速、思いやり算を実行してくれている子ども達でした。